

結露 について



昨今の建物（特に鉄筋コンクリート造の場合）は気密性が高く、特に冬期は寒暖の差が高くなり結露が発生しやすい状況になります。

以下の事に注意して、ご入居して下さいますようお願い致します。

- 各部屋が同じ温度を保つ様、ふすま・ドア等を閉めっぱなしにせず出来るだけ開放して下さい。
- 家具等を壁面に接近しすぎると通風が悪くなり、結露で家具の裏面にカビが発生する場合があります。ピッタリとつけずに空気の通り道を確認して下さい。
- 室内の換気口は常時開放し、時々窓も開けて空気の入れ替えを行ってください。（空気のこもり等も解消して下さい。）
- 水蒸気の発生を抑える為、炊事や洗濯物を干す際は窓の開放・換気扇の使用を必ず行って下さい。
- 浴室使用の際は必ず扉を閉め、使用後は扉を閉めて換気扇を十分に使用すると共に浴槽の水を抜くようにして下さい。
- 加湿器の使用及び煙突を要しない暖房器具（電気暖房を除く）の使用は結露を発生させますので使用しないで下さい。
- 窓面についた水滴は放置しますと壁や床にしみ込みカビの発生原因となりますので都度拭いて下さい。
- 床に布団を直接敷きますと、床と布団との温度差により結露が発生します。床に布団を敷く際には、すのこや防湿マットを置くなど、直接床に布団を敷かないようにして下さい。

どうしても結露が発生してしまう場合は、必ず当社に連絡して下さい。お客様に合わせた結露対策をアドバイス致します。

※結露によって乙に損害が発生しても当社は一切の責任を負いません。

※万一放置して、カビ等の被害が拡大してしまった場合は契約年数に関係なく修繕費等をお客様にご請求させて頂く場合があります。

